別紙 (期間入札の場合)

### 条件付き一般競争入札(事後審査方式)の公告

公告日	令和2年4月1日							
工事番号	都建第10号							
工 種	電気							
工事名	石動駅前駐車場料	料金ゲート設備工事						
施工場所	小矢部市 石動	町 地内						
工事完成期限	令和2年 7月10日							
~ <del>+</del> hu ==	基礎工事 一式							
工事概要	正面出入口ゲー	ト 1箇所						
	定期利用者専用	入口ゲート 1箇所						
	構内配電線路工	一式						
予定価格		(消費税及び地方消費税相当額を除く)						
低入札調査基準	設定有り 当該其準価格	を下回る入札が行われた場合は、落札者の決定を保留し、						
価格		者に結果を通知する。						
	本店、支店又は	1. ケ如ま内に ナキュ 労業 正ナ ナナュ 老						
入札参加資格	営業者の所在地	1 人口以 11 一下15 0 口 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2						
	等級又は総合評	・準市内業者に認定された者 ・平成31・令和2年度小矢部市建設工事入札参加資格者名						
	価値	簿の電気工事において、A等級又はB等級に登録されてい						
		る者						
	その他	・小矢部市条件付き一般競争入札実施要領第3条						
入札方法		期間入札						
入札書の提出方法	去	持参又は郵送						
- 11 IB-11-11B		令和2年4月6日 から 令和2年4月13日 まで						
入札書の提出期間	間	持参の場合の受付時間は市役所開庁日の8時30分~17時15分						
- U - IB - U - U		郵送の場合は、期日内に指定郵便局必着						
入札書の提出先	A.T. o. P. 1. P. 1	総務部財政課						
開札日時	令和2年4月1	1 21						
開札場所		竟改善センター 農事研修室						
入札保証金	免除	U. A ## 12500 THINLL OF H.A.)						
契約保証金		代金額が500万円以上の場合)						
積算内訳書	要(入札時に、入札書と同封して提出)							
入札の無効   小矢部市期間入札実施要領第7条による   小矢部市ホームページ「事業者向け」―「入札案内・資格申請」								
設計図書の配布		ムページ 事業有同り」― 「八代条内・賃俗中間」に拘戦 、ダウンロードにより取得する。						
		-						
記却四事ルを持ち	スが明神明	△チп9年4月0日						
設計図書に対する		令和2年4月8日 今和2年4月10日						
質問に対する回名	台 州	令和2年4月10日						

令和2年度

都建 第 10 号

石 動 駅 前 駐 車 場 料 金 ゲ ー ト 設 備 工 事

実 施 設 計 書

小矢部市

# 石動駅前駐車場料金ゲート設備工事 明 細 表 工事金額 (内消費税額 円) 小矢部市 石動町 地内 基礎工事 式 正面出入口ゲート 箇所 定期利用者専用入口ゲート 1 箇所 構内配電線路工 式

#### 特記仕様書

工事名:石動駅前駐車場料金ゲート設備工事

#### 第1条 一般

この特記仕様書は、「土木工事共通仕様書(富山県土木部)令和元年4月」によるものとし、 第1編共通編1-1-2第6項に基づき、本工事に必要な事項について定めるものとする。

本工事の施工にあたっては、共通仕様書及び特記仕様書の他、これに付随する関係基準書等に基づいて適正に施工すること。

#### 第2条 現場代理人の工事現場における常駐を要しない期間

- 1 次のいずれかに該当し、かつ、発注者との連絡体制が確保されると認めた場合には、工事現場における常駐を要しない期間として取り扱うものとする。
  - ① 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間
  - ② 工事の全部の施工を一時中止している期間
  - ③ 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の向上政策を含む工事であって工場製作の みが行われる期間
- 2 前項の期間を確認する必要が生じた場合は、書面によることとする。

#### 第3条 工事材料の確認

下記の主要材料については、監督員の段階確認を受けて使用するものとする。 確認対象材料 電気設備使用材料 1式

#### 第4条 路盤工

受注者は、路盤材の敷均しにあたり、材料分離に注意し、一層の仕上り厚が指定値を越えないように締め固めなければならない。

#### 第5条 コンクリート配合

使用目的の配合諸元は次表のとおりとする。

番号	呼び強度 (N/mm2)	スランフ° (cm)	粗骨材の 最大寸法 (mm)	W/C (%)	C (kg/m3)	セメントの種類	使用目的
1	18	8	40	60 以下	ı	B • B	基礎コンクリート

#### 第6条 コンクリートの水セメント比

コンクリートの水セメント比は、第4条コンクリート配合を遵守すること。指定した呼び強度 に対して、水セメント比が確保できない場合は、上位規格を用いるものとする。

#### 第7条 建設発生土

本工事で発生する建設発生土にあたっては、埋戻しに流用するものとし、埋戻しに使用しないものについては残土仮置き場へ搬入すること。 残土の処分地は以下のとおりとする。 なお、これによらない場合は監督員と協議するものとするが、やむを得ない場合を除き、処分地変更の場合は設計変更の対象としない。

種別	処分地
残土	安楽寺 地内

#### 第8条 再生材の利用

次表の基礎砕石には再生砕石を利用するものとする。品質については、「コンクリート副産物の再利用に関する用途別暫定人室基準(案)」に基づくものとする。

工種	品種	使 用 箇 所
基礎砕石工	RC-40	路盤材

#### 第9条 建設リサイクル法の対象工事

- 1 本工事は、「建設工事に係る資源の再資源化に関する法律」(以下「建設リサイクル法」 という。)の対象工事であり、特定建設資材について分別解体等及び再資源化等を実施す るものとする。
- 2 請負者は建設リサイクル法第12条に基づき、施工計画書に以下の内容を明記し、監督員に説明するものとする。
  - ・解体工事である場合は、解体する建築物等の構造
  - ・建築工事等である場合は、使用する特定建設資材の種類
  - ・工事着手の時期及び工程の概要
  - ・分別解体等の計画
  - ・解体工事である場合は、解体する建築物等における建築資材量の見込み
- 3 本工事における特定建設資材 (コンクリート、鉄及びコンクリートからなる建設資材、アスファルト・コンクリート) の分別解体等・再資源化については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書「6 解体工事に要する費用等」に定める事項は契約締結時に発注者と請負者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。

ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件によりがたい場合は 監督員と協議するものとする

(1) 分別解体等の方法

	工程	作業内容	分別解体等の方法
			(解体工事のみ)
	仮設	仮設工	□手作業
工程		□有 ■無	□手作業・機械作業の併用
工程ごとの	土工	土工事	□手作業
		■有 □無	■手作業・機械作業の併用
作業内容及び解体方法	基礎	基礎工事	□手作業
内内		■有□無	□手作業・機械作業の併用
谷   及	本体構造	本体構造の工事	□手作業
び解		■有□無	■手作業・機械作業の併用
体	本体付属品	本体付属品の工事	□手作業
- カ - 法		□有 ■無	□手作業・機械作業の併用
	その他	その他の工事	□手作業
	(舗装、既設	□有 ■無	   ■手作業・機械作業の併用
	構造物撤去)	_ :	= 11710 17411710 71714

(2) 再資源化等をする特定建設資材廃棄物の種類及び再資源化施設の場所

特定建設資材廃棄物の種類	処理量
コンクリート塊	m3
アスファルト塊	m3
建設発生木材	m3

※上記(2)については積算上の明示条件であり、再資源化施設を特定するものではない。なお、請負者の提示する施設と異なる場合においても、設計変更の対象としない。ただし、施設の受け入れが困難な場合等、請負者の責によるものでない事項については、この限りではない。

- 4 請負者は、特定建設資材の分別解体等・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法 18 条に基づき、以下の事項を書面に記載し、監督員に報告する。なお、書面は、「建設リサイクルガイドライン(富山県土木部)平成 14 年 6 月」に定めた様式 1 「再生資源利用計画書(実施書)」及び様式 2 「再生資源利用促進計画書(実施書)」に兼ねるものとする。
  - ・再資源化が完了した年月日
  - ・再資源化を行った施設の名称及び所在地
  - ・再資源化に要した費用
- 5 請負者は、再資源化施設において適正に処分されていることが確認できる書類(マニフェスト)を監督員に提示するとともに、運搬・処理を委託する場合は、産業廃棄物処理業者との委託契約書に提示するものとする。

#### 第10条 安全管理

工事期間中は、安全管理要員等を配置し、工事区域内全般の巡視、点検、連絡調整等を 行い安全確保に努めなければならない。

#### 第11条 過積載防止対策

道路交通法及び道路法を遵守するとともに、過積載防止対策に努める。

#### 第12条 地場産品の優先使用

本工事に使用する資材等は、品質が水準以上であり、かつ価格が適正である場合には、県内地産品を優先使用するものとする。

#### 第13条 下請関係の適正化

本工事を下請に付す場合は、「施工体制の適正化及び一括下請負の禁止の徹底等について」を遵守すること。

#### 第14条 社内検査の実施

請負者は、工事の途中段階及び完成時において、発注者の検査前に社内検査を実施するものとし、時期・内容等について施工計画書に記載すること。また、実施結果について監督員に提示するものとする。

#### 第15条 公害防止

建設機械の搬入・搬出及び現場作業による土砂の流出等により周辺に影響を及ぼした場合は、直ちに現状に回復すること。また、本工事により周辺に影響が出ないよう配慮すること。

#### 第16条 工事実施前の措置及び事前事後調査

- 1 既存構造物に接近するとき、又は、撤去する場合には、関係者立会のうえ、現況に写真 撮影、測量等の記録をした後、工事施工を行う。
- 2 請負者は、あらかじめ沿道(周辺も含む)家屋等について事前調査を行い、善良な管理 義務を怠ったことにより、家屋等物件に被害が認められた場合は、請負者が責任を持って 処理するものとする。

#### 第17条 工事実施前の措置及び事前事後調査

- 1 請負者は、契約後指定の基準点に基づきすみやかに必要な測量を行うこと。
- 2 測量を行った後、工事施工前には監督員の確認を受けること。
- 3 仮B. Mは、位置高さの変動のないよう、適切な保護をすること。
- 4 構造物が設計図書どおり築造できない場合や、設計図書等に記載のないものについては、 監督員と協議すること。

#### 第18条 工事調整について

「石動駅前広場整備工事」及び「石動駅前駐車場進入路整備工事」と調整を行い、工事がスムーズに進むように努めること。

#### 第19条 その他

その他、定めがない事項について疑義が生じた場合は、その都度監督員と協議するものと する。

費目	工種	種別	細別	品質・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費									
	電気設備工	機械式ゲート工事							
		機器費							
			正面出入口ゲート		1	式			1
			定期利用者専用入口ゲート		1	式			2
		機器費計							
		直接工事費							
			アイランド内配管・配線工事		1	式			3
			基礎工		1	式			4
	電気設備工	構内配電線路工事	; T						
		材料費			1	式			5
		直接工事費	電工費・土工費		1	式			6
		直接工事費 計							
		間接工事費							
			試験調整費						
			共通仮設費						
			現場管理費						
		工事原価							
		一般管理費							
		端数調整							

費目	工種	種別	細別	品質・寸法	数量	単位	単価	金額	備考
		工事価格							
		消費税相当額			10	%			
		請負工事費							

	<u>,</u>	訳	書		,				
名称	品質 • 寸法	単位	数 量	単	価	金	額	摘	要
機器費 正面出入口ゲート		式	1						
駐車券発行機	車両感知器内臓	台	1						
全自動精算機	車両感知器内臓	台	1						
台数制御盤		台	1						
カーゲート		台	2						
バーキャッチャー		台	2						
ループコイル		本	4						
高輝度LED(満/空)	出入口付近鋼管ポール取付	台	1						
高輝度LED(満/空)	看板片面取付	台	1						
出庫注意用LED回転灯	出入口付近鋼管ポール取付	台	1						
カメラポール	シルバーN7.5	本	2						
テント		台	2						
カメラ	屋外型	台	2						
レコーダー		台	1						
呼出機	屋外型	台	1						
オートホン制御装置		台	1						
機器収納盤	アイランド上設置	台	1						
合計								1式あたり	

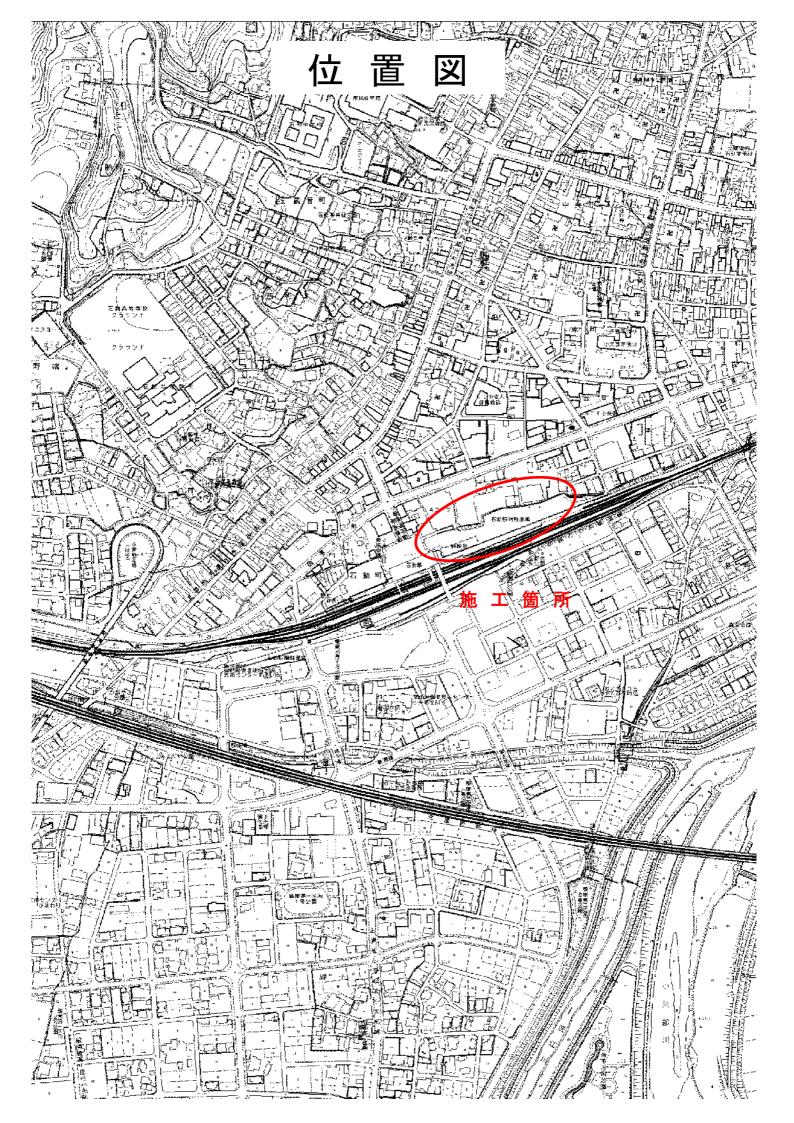
	内		書			
名 称	品 質 · 寸 法	単位	数量	単 価	金額	摘要
2 機器費 定期利用者専用入	ロゲート	式	1			
定期券認証機		台	1			
カーゲート		台	1			
バーキャッチャー		台	1			
ループコイル		本	2			
入口灯	シルバーN7.5、LED内照式	台	1			
テント		台	1			
合計						1式あたり
単価						1式あたり

					内	訳	書							
	名 称	品	質	· 寸		単位		量	単	価	金	額	摘	要
3	システム工事費													
	アイランド内配管・配線工事	費				式		1						
	機器設置費					式		1						
	合計												1式あたり	
	単価												1式あたり	

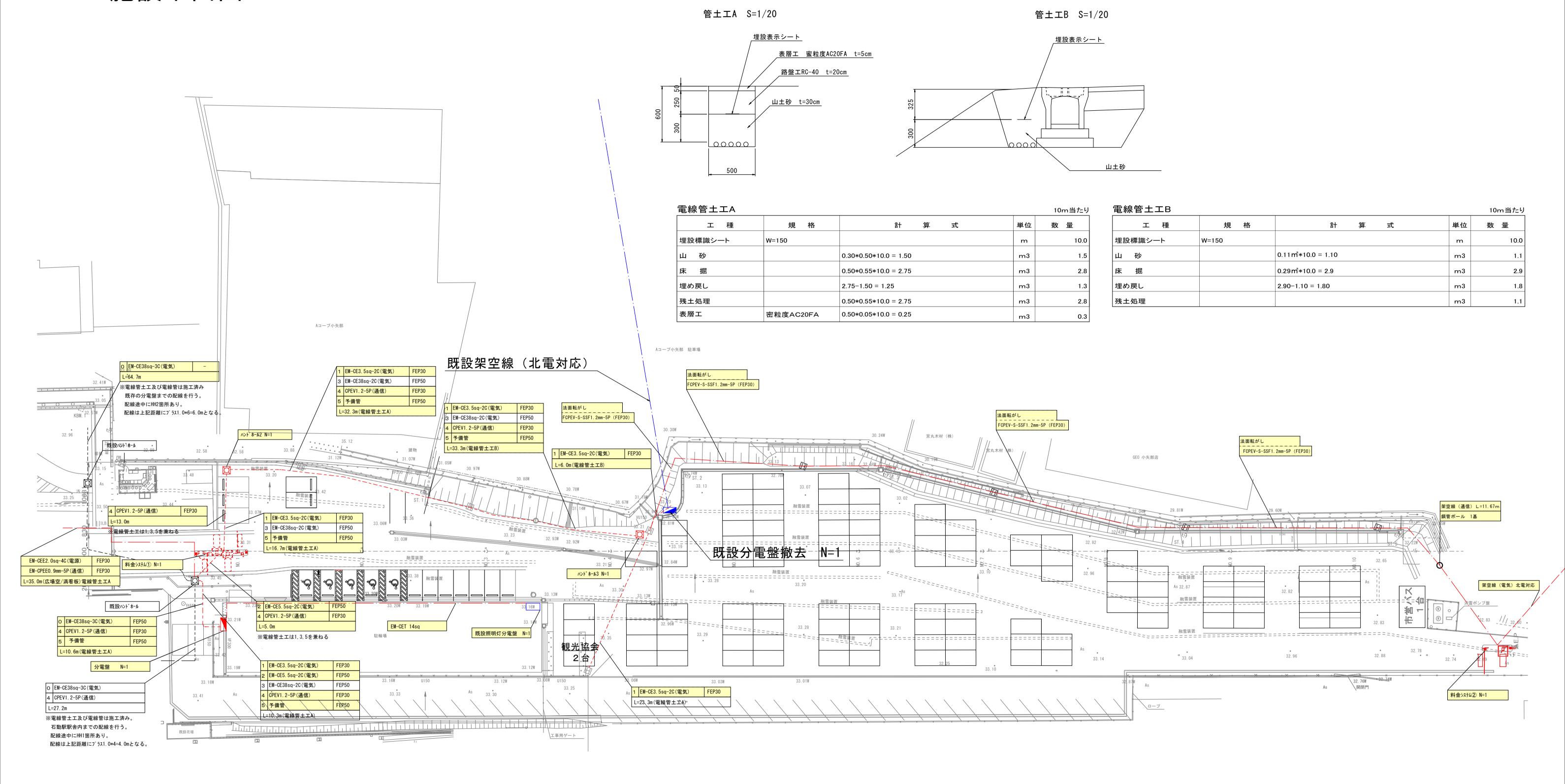
	h	<b>≒</b> □	書			
名 称	品質・寸法	訳 単位		単価	金額	摘要
4 基礎工		式	1			
掘削		m3	7			
埋戻		m3	2			
残土運搬費	10tDT 3.0km以下	m3	5			
残土処分		m3	5			
基礎砕石	再生砕石 RC-40 t=10cm	m2	18			
基礎コンクリート	18-8-40BB W/C≦60%	m3	5			
型枠		m2	7			
合計						1式あたり
単価						1式あたり

	内	訳	書						
名称	品 質 · 寸 法	単位	数量	単	価	金	額	摘	要
5 構内配電線路工・材料費									
波付硬質合成樹脂管	FEP30mm	m	373						
波付硬質合成樹脂管	FEP50mm	m	198						
同上付属品		式	1						
同上支持材		式	1						
着色識別PE絶縁ビニルシースケーブル	FCPEV-S-SSF 1.2mm-5P	m	284						
600V架橋PE絶縁耐熱性PEシースケーブル	EM-CE3.5sq-2c	m	106						
600V架橋PE絶縁耐熱性PEシースケーブル	EM-CE5.5sq-2c	m	16						
トリプレックス型PE絶縁耐熱性F ケーブル	EM-CET 14sq	m	85						
制御用PE絶縁耐熱性PEシースケーブル	EM-CEE 2.0sq-4 c	m	35						
市内対PE絶縁耐熱性PEシースケーブル	EM-CPEEO. 9mm-5p	m	35						
架橋ポリエチレン絶縁耐燃性ポ エチレンシースケーブル	J EM-CE38sq-3C	m	81						
導入線	2.0mm ビニル被覆	m	129						
分電盤		面	1						
NAポール	7.0m SH-7	本	1						
接地材料	ED打込式	箇所	1						
埋設標識シート	150mm PEクロス 2倍	m	121						
盤類取付鋼材		式	1						
ハンドホール	重耐セパレータ付600×600 H1-6	基	2						
ハンドホール穴あけ加工費		箇所	16						
습計								1式あたり	
単価								1式あたり	

内 訳 書											
名称	品質·寸法	単位	数量	単 価	金	額	摘	要			
6 直接工事費											
電工		人	42								
塗装工	塗装補修	人	1								
掘削		m3	37								
山砂		m3	18								
路盤工	RC-40	m3	12				電線管土工A				
埋戻工		m3	7				電線管土工B				
残土運搬費	10tDT 3.0km以下	m3	16								
残土処分		m3	16								
合計							1式あたり				
単価							1式あたり				



# 施設平面図



西口	線	₹
出口	称	ュ

番号	系 統	電線管	電線管延長	電線	電線延長			
0	引込線(電気)	FEP50	10. 6	EM-CE38sq-3C	81. 3			
1	照明灯	FEP30	121. 9	EM-CE3.5sq-2C	121. 9			
2	料金システム①	FEP50	16. 0	EM-CE38sq-2C	16. 0			
3	料金システム②	FEP50		EM-CE38sq-2C				
4	料金システム(通信)	FEP30	284. 0	FCPEV1.2-5P-ssd	284. 0 154m(転がし) 130m(地中線)			
5	予備	FEP50	130. 4	-	1			
ŧ	記線管土工A	35. 0+10. 6+	16. 7+32. 3		94. 6			
The state of the s	記線管土工B	33. 3+6. 0	33. 3+6. 0					

- ※ 電線管延長には分電盤0.5m,ハンドホール0.5m,施設0.5mの余長を含む。
- ※ 電線延長には分電盤1.0m, ハンドホール1.0m, 施設1.0mの余長を含む。
- ※ 名線は他線と区別できるようにする(ハンドホール内、分電盤内等)。
- ※ 引込みは既存の分電盤(石動駅前広場入口に設置)より実施する。

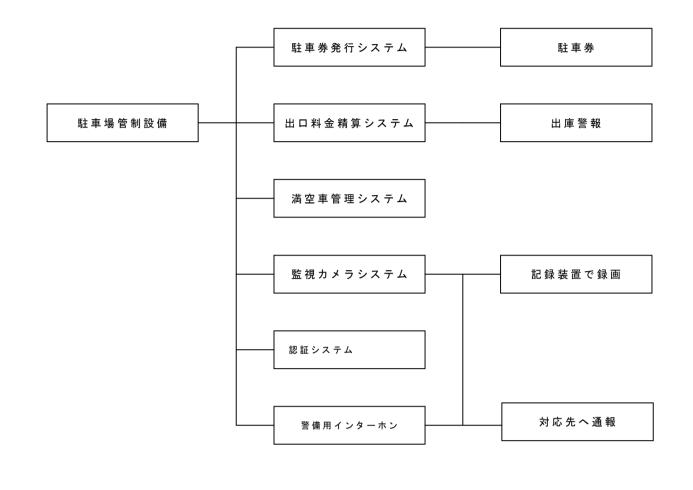
件	名		石 動 駅 前 駐 車 場 電 気 設 備 工 事									
種	別		全体平面図									
縮	尺		図示		枚	数						
		係長		照査			文		製図			
	令和	2 年	3 月	B		図	面					
	小矢部市											

# 1.システム概要

本システムは、平面駐車場に適用される。駐車場出入口の処理を精算システムの導入により、サービスの向上と無人化を図ることを目的とする。 (1)入口駐車券発行システム 本駐車場は認証機を利活用することで認証サービスが可能となる。(定期券、回数券、プリペードカードを利用することも可能であること)

入場時は車両進入・一時停止後、駐車券を抜き取り、場内へ入場し、出場時は、出口の全自動料金精算機にて料金を徴収する。 駐車場内の満空車状況はシステムにて把握しており、入口で入庫制限を行う。

# 2.システム構成



### 3. 各システムの概要

車路に埋設されたループコイルが車両を検知し、入車時刻等を印字し、磁気書き込みされた駐車券を発行する。 駐車券を抜き取るとゲートバーが開き駐車場内に進むことができる。

入庫車がゲートバーを完全に通過するとループコイルで車両を検知し自動でゲートバーを閉じる。

#### (2) 出口料金精算システム

車路に埋設されたループコイルが車両を検知すると、駐車券受付状態になる。 利用者は車両に乗車し出口全自動精算機に駐車券を挿入し、料金の精算を行うと、ゲートを開とし出庫可となる。 出庫車がゲートバーを完全に通過するとループコイルで車両の通過を検知し自動でゲートバーを閉める。 精算出口では、場内車両の通行の安全の確保、並びに、歩行者の安全の確保の為に回転灯にて注意を喚起する。

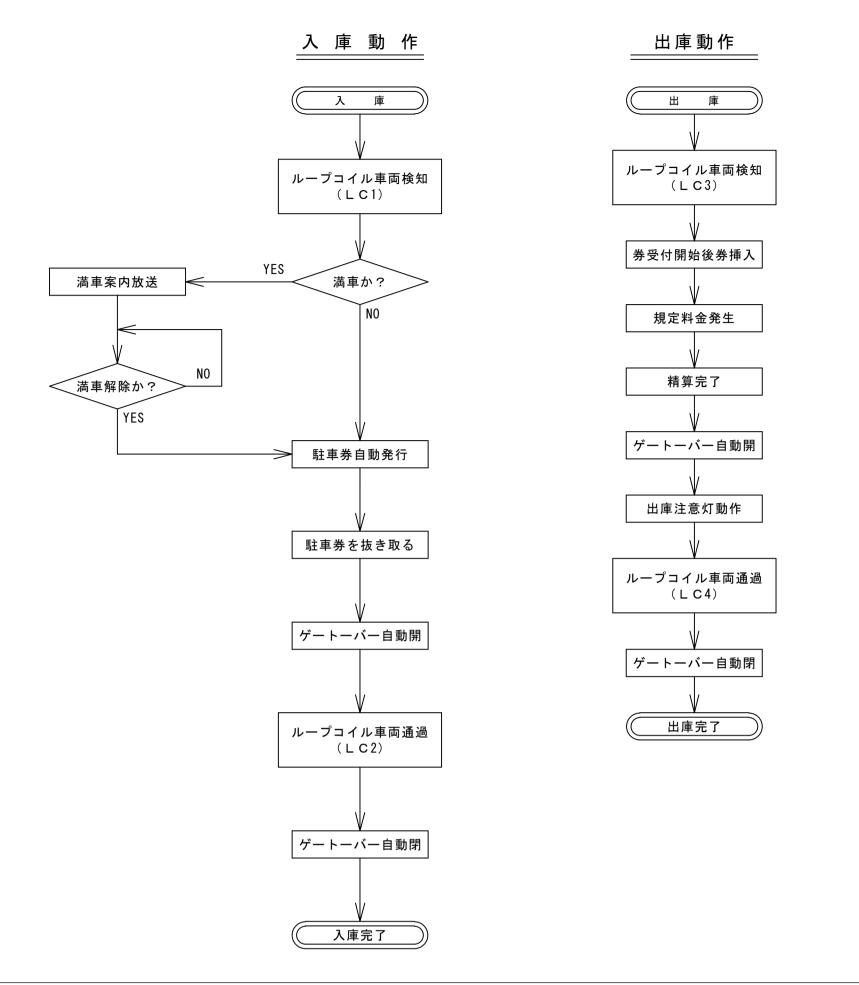
(3)満空車管理システム

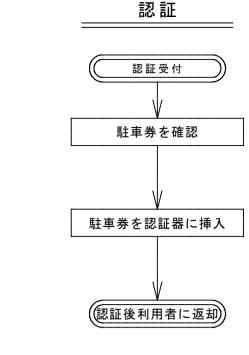
入車台数と出車台数により、駐車台数を計算し、満車設定台数と比較し、満車表示を行う。 駐車場満車時には、入口表示灯が「満」表示となり、満車案内放送を行い入庫を停止する。

#### (4)監視カメラシステム

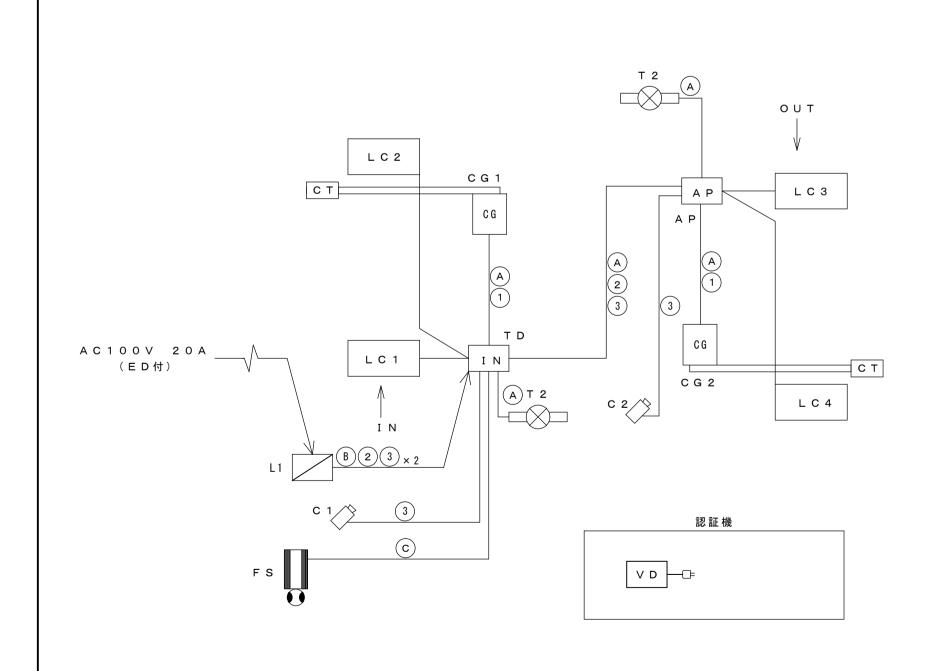
場内には防犯目的とした監視カメラを設置する。監視カメラの映像は場内の記録装置にて記録する。 警備用インターホンと連動して、対応先に映像を伝送する。

### 5. システム動作フローチャート





### 4. システム系統図



## 凡例

記号	緒元	名 称	数量	備考
IN	T D	駐車券発行機	1	
АР	ΑP	全自動料金精算機	1	
C G	СG	カーゲート	2	
СТ	СТ	バーキャッチャー	2	
L C	LC	ループコイル	4	
	FS	出入口表示灯	1	
	L1	分電盤	1	
	С	監視カメラ	2	
	Т	照明 (テント式)	2	
V D	V D	認証機	2	

# 線 種

488	<b>-</b>	
(A)—	EM CE2sq-3C	FEP30
(B)—	·	
	EM CE3.5sq-3C	FEP30
<u>C</u> —	EM CEE2.Osq-6C	FEP30
<u>(1)</u>	·	
	EM CPEEO.9-5P	FEP30
2	EM CPEE-SO.9-5P	FEP30
<u>(3)</u> —		. 2. 00
3	Cat5e — LAP	FEP30

### 5. その他の仕様

(1)駐車券の種類 駐車券については以下の4つのものを利用できること。 ①時間利用券:料金設定については以下を例とし、監督員と協議すること。 入場後 1時間まで 1 時間から 2 時間未満 100円 2時間から3時間未満 3時間から4時間未満 400円 4時間から5時間未満 500円 5 時間以上24時間未満 24時間以降、24時間未満につき 500円加算 なお、時間割引を行うことができ、入場後から割り引いた使用時間以降の料金は、料金設定中の1時間以降からの料金を適用すること。 ②平日定期利用券:平日開始の午前0時から平日終了の午前0時前に入退場する場合は0円とする。 平日から休日をわたって利用する場合は、休日開始の午前0時から休日終了の午前0時までの時間料金を加算する。 平日から休日にわたり、さらに平日にわたって使用する場合は、休日分のみ料金が発生する。 ③料金割引券:料金を割り引くための時間券が使用できるものとする。 ④管理者用パス:管理者用パスは、回収されずに戻るものとする。 (2)自動精算機 入退場時には「時間利用者」と「平日定期利用者」の選別を音声案内により行うものとし、下記のとおり動作すること。 〇入場時:「時間利用者」の場合は、入場時間を記入した駐車券を発行する。 「平日定期利用者」の場合は、平日定期券の挿入により入場時間を自動精算機内に記録する。 〇退場時:「時間利用者」の場合は、利用券回収後、使用時間に合わせて音声及び画面表示により料金を伝達し、利用券料金を受領してゲートを開く。 「平日定期利用者」は、同じく音声及び画面表示にて料金を伝達し、休日利用がある場合は時間利用料金を受領する。 監視カメラを設置し、映像を記録する装置を内蔵すること。 (4)非常ボタン

非常時の際には監視カメラ映像及び音声の伝送を行えること。 カメラ映像は、非常ボタンを押した段階で対応先に伝送されること。 音声は、非常ボタンを押した段階で、対応先と相互の通話が可能となること。 対応先が必要と判断した場合、対応先からの操作でゲートを強制開にできること。

精算機内に記録装置を内蔵し、利用台数、利用時間等の分析が可能な情報を記録できること。

(6)カーゲート 視認しやすい配色とし、接触等による衝撃受けた場合は変形等を行って、進行方向側に追随する構造とすること。

駐車場表示「P」および満車表示灯を設置し、任意の台数で満車表示ができること。

(8)定期券専用ゲート

定期券認証機および出入口表示灯を設置すること。なお、定期券専用であることを表示し、満車表示は行わないものとする。 また、本ゲートについては、通信機能は持たず、強制開はできないものとする。

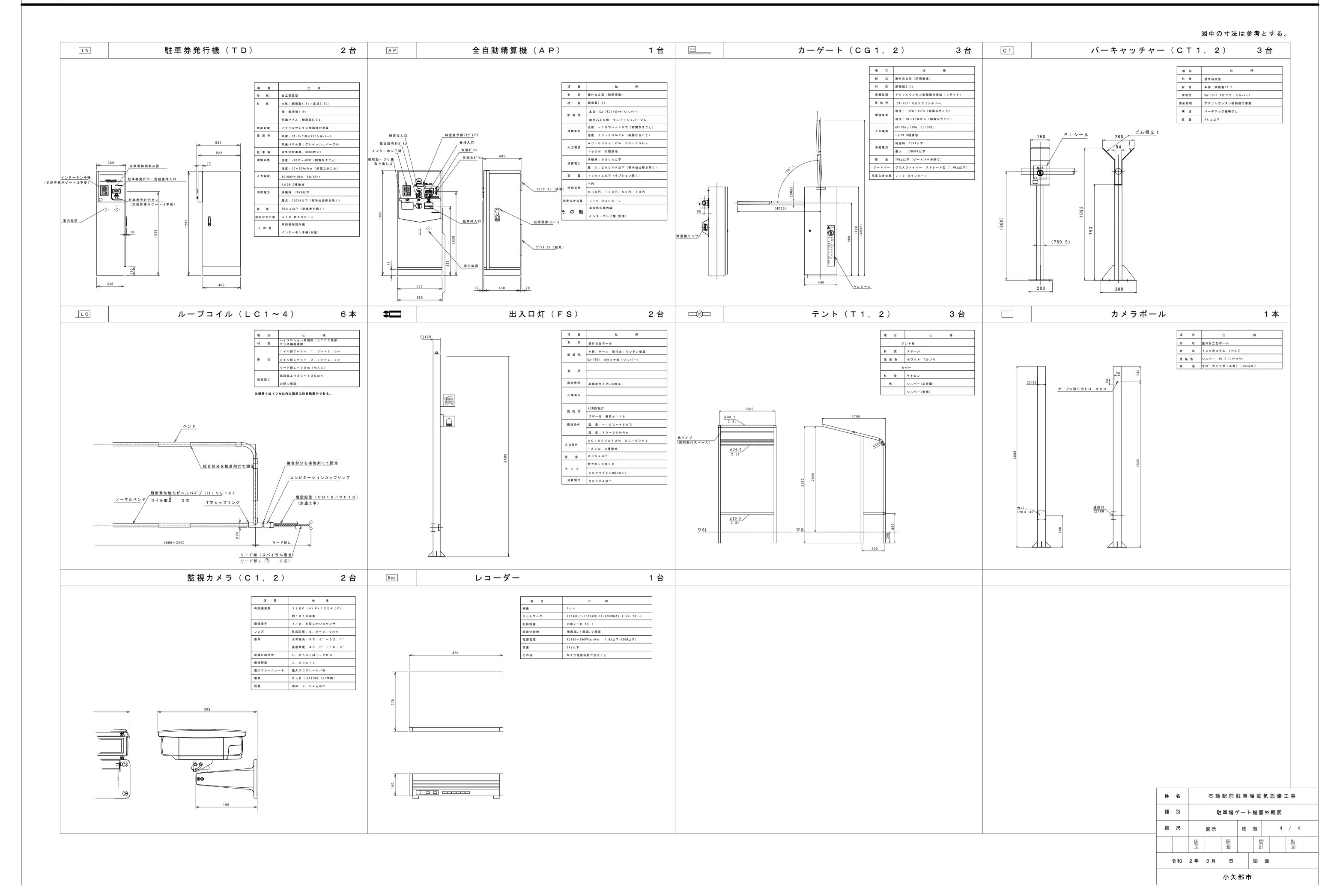
駐車場を使用できる車両は、道路交通法(昭和35年法律第105号)第3条に規定する普通自動車(積載物を含め、長さ6メートル以下のものに限る。)とする。

(10)工事調整について

「石動駅自由通路工事」及び関連工事と調整を行い、工事がスムーズに進むように努めること。

疑義が生じた場合は、監督員と協議を行うこと。

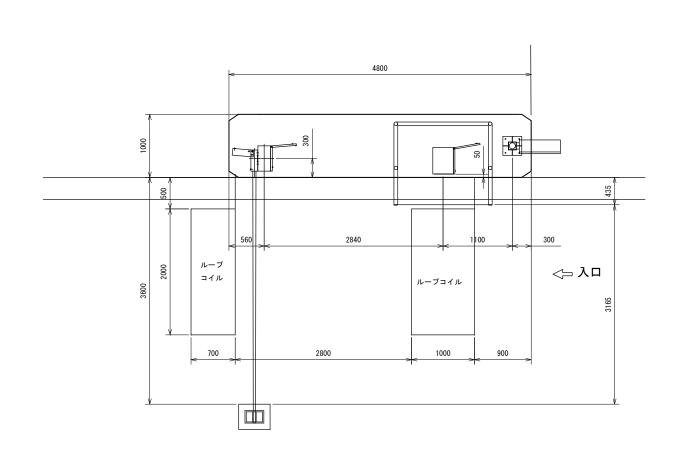
件	名		石 動 駅 前 駐 車 場 電 気 設 備 工 事										
種	別		駐車場ゲート仕様書										
縮	尺		図 示					1 / 4					
		係長		照査			Ž		製図	ļ Ī			
,	令 和	2 年	3月	B		図	面						
小矢部市													

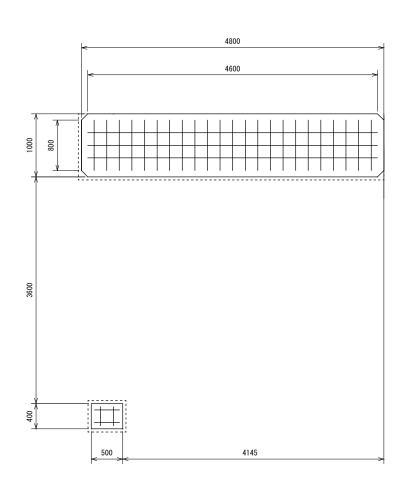


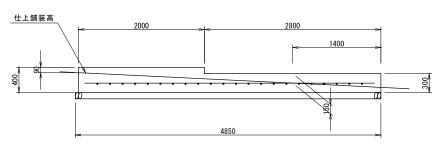
# 定期券専用ゲート計画図 S=1/60

平面図

## 基礎構造図







ゲート基礎 基礎砕石 4.85\*1.05=5.1m2 基礎コンクリート (1.0\*2.0-0.1\*0.1/2\*2)\*0.4+(1.0\*2.8-0.1\*0.1/2\*2)\*0.3=1.6m3 型枠 (1.9+0.14+0.8+0.14)\*0.4+(2.7+0.14+0.7+0.14)\*0.3+0.1\*1=2.4m2 バーキャッチャー基礎 基礎砕石 0.51\*0.41=0.21m2

基礎砕石 0.51\*0.41=0.21m2 基礎コンクリート 0.4\*0.5\*0.3=0.06m3 型枠 0.5\*0.3\*2+0.4\*0.3\*2=0.55m2

件	名		石動駅前駐車場電気設備工事								
種	別		定期券専用ゲート計画図								
縮	尺		図示								
		係長		照査		į	· 设 計		製図		
	令和 2 年 3 月 日 図 面										
	小矢部市										